経済学部　経営学科 4 年　富坂大貴

中国留学体験記

浙江工商大学

留学先

中国本土にある、浙江工商大学（工商大）に 2019 年 3 月～2020 年 1 月まで留学していた。本大学がある浙江省杭州市は、北は上海市、南は福建省に隣接しており、中国国内では「都市部」にあたる。また、世界遺産である「西湖」があり観光客も多い。緯度も日本の九州とあまり変わらず、気候的には住みやすい。夏は暑いが冬は雪が降らず、自転車で移動できる。

前述のとおり、上海に隣接しているため、高速鉄道を使えば 1 時間弱で上海に行ける。杭州市には日本企業の支部が多いため、街中で日本人を見かけることも多少あった。工商大への世界各国からの留学者は約 1 千 8 百人であるが、日本人は 3 人程度とかなり少ない。留学生を国別でみると、旧ソ連系の各国や、バングラデシュ等の南アジア、韓国からの留学生が多かった。しかし、工商大には東方言語文化学院という、日本語学科があり日本語が上手な学生が数多くいる。

大きい校庭

留学動機

大学 1 年生時に中国語を履修していたが、前期、後期ともに 65 点程度の「可」。中国に全く興味がなかった。大学 2 年生時に、中国で働いていた叔父に「中国に行っておけ、必ずお前のためになる」と言われ、中国で暮らす家や、お金を工面してくれた。しかし、あまり気が乗らずに大学 3 年生になっていた。中国留学をするかどうかを決断できずにいると、叔父が病死し中国留学をすることを決意した。

中国生活

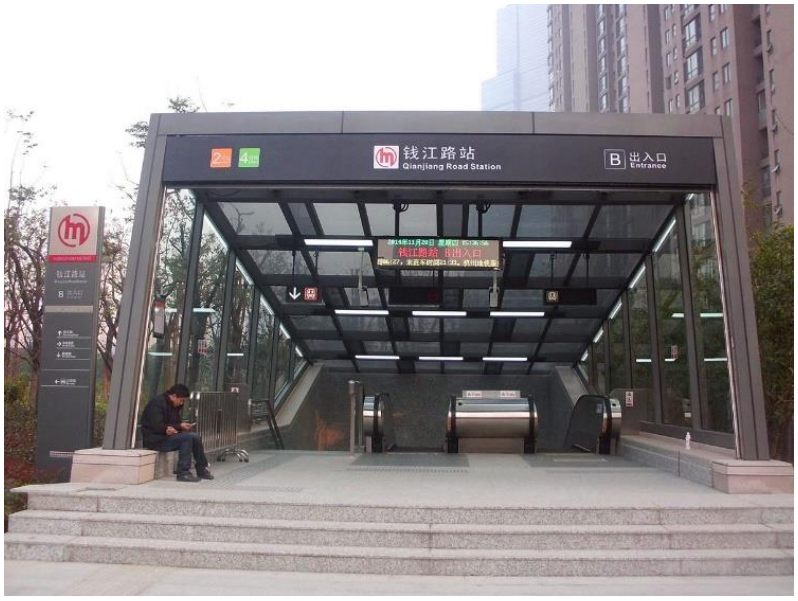
日本と主に違うのは支払方法だ。紙幣はもちろん使えるがキャッシュレス決済が主流である。「支付宝」「微信」このふたつを入れておけば問題ない。キャッシュレス決済を使うには、

① 中国の口座を開設していること、

② 中国で使える携帯電話を持っていること である。

中国留学を始めたら、学校の先生や日本語学科の学生を探して、SIM カードを買いたいことと、口座を開設したいということを伝えるとよい。体感では約９割の中国人がとても親切に教えてくれ、タクシーの手配や、詳しい道順まで教えてくれる。キャッシュレス決済ではお店の店員が値段を言い、それを自分で打ち込む作業が必要であるため、中国留学前に数字だけでも理解していると生活がしやすくなる。日本の日用品は中国でも購入できる（割高だが）ため、荷物は少ない方がよいが、入学手続きに必要な証明写真は持って行った方がよい。

また、地下鉄に乗る際に日本とは違い持ち物検査がある。蓋の空いた液体は止められる可能性が高いので、何か言われたら警備員の前で飲んで確認させればよい。さらに地下鉄では、不定期で身分確認をおこなっているため外国人はパスポートを提示する必要がある。写真を撮るか、コピーを持ち歩く等の対策は必須。稀ではあるが、警察官に急にパスポートを見せろと言われることがある。持っていないとかなり怒られる。（中国の警察官は日本の警察官より格段に怖い）都市部であれば治安は良く、街の人も優しいのだが、自分が言ったことが聞き取られないと「あっ?」と言われる。日本ではあまり言われないのではじめのうちは驚く。怒っているのかと思うこともあるが実際は誰も怒っていないので気にしなくてよい。



一番近い駅

2019 年 3 月～7 月(留学前半)

中国は日本のように 4 月に新学期開始ではなく、9 月から新学期のため私は日本でいう後期から工商大に入学した。入学時は全く中国語ができず、初級からのスタートであった。工商大の留学生用カリキュラムは大きく、初級・中級・高級の 3 つに分かれており、初級の中でも 1，2，3 と区分けされる。漢字もある程度読めるため、はじめのテストで初級の 1 に上がることができた。

前期は基礎中の基礎を学び、授業は基本午前中で終わる。午後は中国生活に慣れるために習ったばかりの中国語で知らない人に道を聞くというのが日課になっていた。すると、フルーツ屋さんのお父さんや、コンビニのおばちゃん、お茶屋さんのおじさんと仲良くなれた。また、学校内でも国際文化祭に参加したり、留学生用リーフレットの取材を受けたりした。その過程で、アメリカ人や南アフリカ人、チェコ人、ギニア人、イラン人など普段関わることのない国籍の友達ができた。そのころは拙い英語で会話していたが、ほかの国の学生たちは、母国語、英語、中国語と 3 か国語話せる人ばかりでもっと頑張ろうと勉強に対するモチベーションを上げてくれた。

また、日本人に興味を持ってくれる中国人学生が多かったが、自分が中国語を聞き取れないがため、うまく会話できないこともあった。後期はもっと勉強して中国人と会話できるようになりたいと思う気持ちが強まった前期であった。

国際文化祭

ザリガニを食べる

前期のクラスメイトとピクニック

2019 年 9 月～2020 年 1 月(留学後半)

9 月から秋学期が始まり、新入生が入学してくる。本来は 9 月から新学期が始まるのだが、私が留学していた 2019 年は中華人民共和国設立 75 周年を迎える年であったため、10 月から新学期スタートであった。(中国では国慶節という、10 月 1 日から 7 連休から 9 連休の休みがある。)自分は学期が始まる前に上海や南京に旅行に行った。上海には外灘という外資系企業が集まった地域や上海ディズニーランドがあり、杭州とは違った雰囲気を楽しめた。

上海外灘（上海中心の観光エリア）

上海市内

10 月からの秋学期は自分の中国語力を向上させたいという思いから、工商大の留学生支援室長に、高級クラスの授業を受けることと、学部生の授業にも聴講生として参加させてもらうことをお願いしたところ、テストを受けて、高級 1 のクラスに入ることができた。(学部生の授業参加には各授業を持っている先生にもお願いする必要がある)

前期は午前中だけで授業が終了したが、後期は朝 8 時 50 分から 12 時 15 分、午後は 13 時 40 分から 17 時 10 分まで留学生とともに語学の授業があり、18 時 40 分から 21 時まで中国人学生と共に中国文化や経済の授業を受けた。(月曜日は休み) 難易度についても前期とはかなり変わった。クラスメイトの大半が中国語を 2 年以上母国で学び留学をしている学生であった。そのため、基本的に授業はすべて中国語、教科書も中国語で中国語の説明が書いているものであった。課題は毎日出される。

授業によって多少変わるが、パワーポイントを使って母国についての発表、日本語の歌を中国語に翻訳して歌の披露、中国で困ったことや楽しかったことの発表など、クラスメイトの前で発表する課題が多かった。はじめは拙い中国語で伝わるのか不安だったがクラスメイトも先生もとても真剣に聞いてくれ、適切なアドバイスももらえた。しかし、中国語初心者の自分に課題をすべてこなすのはかなり大変であった。各学期の最後に期末テストがあ

り、このテストに通らなければ、交換留学生は単位がもらえず、私費留学生は次のセメスターも同じクラスでもう一度勉強しなおさなければならない。

テスト自体はそれまでに出された課題の難易度に比べるとかなり易しいし、テストに関しては心配する必要はあまりないが、テストは 12 月 28 日～1 月 4 日のあたりで行われるため精神的につらいところもある。

浙江工商大学国际教育学院2019-2020学年第一学期国际汉语长期进修生课程表（下沙校区）

		星期一 Monday	星期二 Tuesday	星期三 Wednesday	星期四 Thursday	星期五 Friday
1班 Class1	上午 A.M	8:50-12:15 初级汉语综合1 Elementary Comprehensive Chinese 1 孙鹏飞 Sun Pengfei D308	10:40-12:15 初级汉语口语1 Elementary Chinese:speaking 1 余胜男 Yu Shengnan D311	8:50-12:15 初级汉语综合1 Elementary Comprehensive Chinese 1 孙鹏飞 Sun Pengfei E237	8:50-12:15 初级汉语综合1 Elementary Comprehensive Chinese 1 孙鹏飞 Sun Pengfei D319	8:50-12:15 初级汉语综合1 Elementary Comprehensive Chinese 1 孙鹏飞 Sun Pengfei E314
	下午 P.M	13:40-17:10 初级汉语口语1 Elementary Chinese:speaking1 余胜男 Yu Shengnan E314		13:40-17:10 初级汉语听力1 Elementary Chinese:Listening 1 吴鸣琴 Wu Mingqin 外语楼417		

		星期一 Monday	星期二 Tuesday	星期三 Wednesday	星期四 Thursday	星期五 Friday
2班 Class2	上午 A.M	8:50-12:15 初级汉语综合2 Elementary Comprehensive Chinese 2 王芳 Wang Fang F209	8:50-12:15 初级汉语听力2 Elementary Chinese:listening 2 龚思Gong Si 外语楼417	8:50-12:15 初级汉语综合2 Elementary Comprehensive Chinese 2 王芳 Wang Fang E331	8:50-12:15 初级汉语综合2 Elementary Comprehensive Chinese 2 王芳 Wang Fang F209	8:50-12:15 初级汉语综合2 Elementary Comprehensive Chinese 2 王芳 Wang Fang F304
	下午 P.M				13:40-17:10 初级汉语口语2 Elementary Chinese: Speaking 2 龚思Gong Si E331	13:40-15:20 初级汉语口语2 Elementary Chinese: Speaking 2 龚思Gong Si E331

		星期一	星期二	星期三	星期四	星期五
3班	上午 A.M		8:50-12:15 中级汉语综合1 裴蓓 Pei Bei E237	8:50-12:15 中级汉语听力1 吴鸣琴 Wu Mingqin 外语楼434	8:50-12:15 中国概况 马有丽 Ma Youli D233	8:05-9:35 中级汉语口语1 张颖 Zhang Ying E303
	下午 P.M		13:40-17:10 HSK四级进级指导 黄自然 E314	13:40-17:10 中级汉语口语1 张颖 Zhang Ying E237	13:40-17:10 中级汉语综合1 裴蓓 Pei Bei E237	

後期の時間割 8：30～12：15、13：40～17：10（3 班に所属していた）

日中韓交流会

中国の焼肉

福井県について発表（発表画面は永平寺）

帰国後

帰国後はすぐに資格取得の試験を受けた。自信も中国語力もある帰国後すぐに HSK や中国語検定を受けることを推奨する。日本に帰って少し勉強して受けようとすると、思った以上に中国語の勉強に割く時間や、根気が持たないからである。

さいごに

「旅は恥のかき捨て」という言葉があるように、恥ずかしいという感情を捨てることが留学では大切だと思う。ずっと同じ人たちと同じ環境にいるだけではなく、日本であれば絶対やらないなと思うことに積極的に参加することが自分の糧になる。日本では知らない人に話しかけられない私も、勇気を出して話かけてみることで、「うちの国に遊びに来たらいつでも家に来なよ」と言ってくれる友達ができ、留学当初に目標としていた資格取得も達成できた。

日本で知らない人に気さくに話しかけられる人は自分が予想しているよりずっと高い語学力を手に入れられると思う。留学中、トラブルに巻きまれたり、努力が目標に達成できなかったりした時は泣きたくなるけれど、必ずハッピーエンドが待っていると思うと頑張れる。ぜひ何事もやってみて良し悪しを決めることを念頭に留学に挑戦してみてほしい。